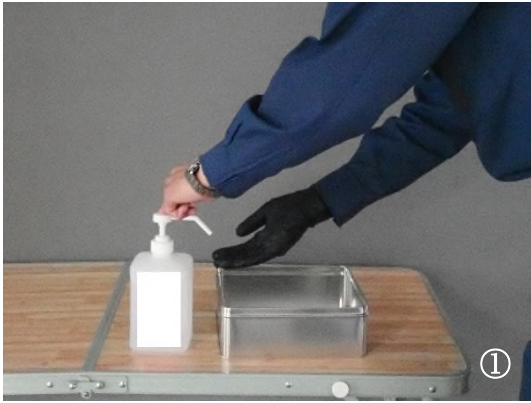


消毒用アルコールの火災危険

手指のアルコール消毒をした後は注意！

手指、衣類等が消毒液で濡れた状態で、火気を近づけると引火する危険性があります。ライターやストーブを使用する際、バーベキューなどの際は、消毒液が完全に乾いてから作業しましょう。



① 手指に消毒用アルコールを噴射



③ たばこに着火する前にアルコールの可燃性蒸気に引火
※アルコールの炎は青白く燃焼するため明るい場所では見えにくい



② 手指が消毒液で濡れた状態でライターの火を点ける



④ 手袋に燃え移ると、炎はオレンジ色になり勢いよく燃え上がります。衣類などに燃え移るととても危険です。

消毒用アルコールは、火気に近づけると引火しやすく、アルコールから発生する蒸気は、可燃性で空気より重く、低いところにたまりやすい特徴があります。次の注意事項を守り、安全に取り扱って下さい。

- **引火しやすいので、火の近くでは絶対に使用しないでください**
- 室内で容器に詰め替える時は、十分に換気を行い漏れ、溢れに注意しましょう
- 容器を設置・保管する際は、直射日光が当たる場所や高温になる場所を避けましょう
- 容器を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください
- 詰め替えた容器には「消毒用アルコール」、「火気厳禁」などの表示をしましょう